

平成19年 9月11日

平成18年度財務諸表の公表について

今般、平成18年度(第3期)の財務諸表並びに決算報告書等が文部科学大臣から承認され、公表する運びとなりました。公表に当たり、まずは関係各位にご支援等を賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。

この財務諸表は、企業会計原則を基に、教育研究という大学の業務内容の特性等に配慮した「国立大学法人会計基準」及びその「実務指針」等に従い作成しております。

大阪大学の財政基盤の多くは国からの運営費交付金等で支えられていますが、毎年度効率化係数や経営改善係数がかけられることにより、その交付額が毎年約9億円程度減少しており、このことは中期計画期間中の財政状況が、年々非常に厳しくなることを示唆しております。

このような認識に立ち、「地域に生き世界に伸びる」大学として、健全な大学運営を可能にする財政基盤の確立を目指して、経費節減や外部資金の獲得の拡大など、一層の経営努力を続ける所存でございます。

今後とも、より広くのご意見並びにより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大阪大学理事・副学長(財務・会計担当)
門 田 守 人

比較貸借対照表

単位:百万円

区 分	平成18年度	平成17年度	増 減	備 考	
I 固定資産	376,539	375,722	817	<p>資産の増加は、施設整備費補助金等による「建物」、「投資有価証券」、「現金及び預金」、「その他未収入金」の増加が主な要因です。</p> <p>「建物」については、歯学研究科口腔科学研究棟・先端口腔総合診療棟の新設及び工学研究科のPFI事業による研究棟改修を行いました。</p> <p>「その他未収入金」については、そのほとんどが、国等との契約に係る翌期に入金予定の受託研究費等です。</p>	
有形固定資産	369,494	369,156	338		
土地	217,391	217,391	0		
建物	91,635	89,986	1,649		
構築物	4,714	5,547	△ 833		
機械及び装置	539	662	△ 123		
工具・器具及び備品費	32,736	32,373	363		
図書	21,109	20,908	201		
建設仮勘定	503	1,415	△ 912		
その他の有形固定資産	861	868	△ 7		
無形固定資産	556	591	△ 35		
投資その他の資産	6,488	5,975	513		
II 流動資産	28,722	27,774	948		
現金及び預金	21,885	21,611	274		
未収附属病院収入	4,056	4,063	△ 7		
その他未収入金	1,068	376	692		
その他の流動資産	1,707	1,719	△ 12		
資産合計	405,261	403,497	1,764		
I 固定負債	85,447	87,659	△ 2,212	<p>償却資産を承継・取得した場合に当該資産の見返りとして、減価償却処理時に取り崩して収益化される「資産見返負債」の減少及び「債務負担金」の償還による減少に対して、「長期借入金」の新たな借入金約20億円の増加、PFI債務の「長期未払金」の増加、「運営費交付金」及び「寄附金」の債務繰越の増加、「前受受託研究費等」の増加があり、両者がほぼ均衡しました。</p>	
資産見返負債	41,316	44,804	△ 3,488		
債務負担金	32,562	36,807	△ 4,245		
長期借入金	2,964	1,082	1,882		
長期未払金	7,800	4,194	3,606		
その他の固定負債	802	769	33		
II 流動負債	37,941	35,621	2,320		
運営費交付金債務	2,467	1,684	783		
寄附金債務	11,510	10,752	758		
前受受託研究費等	2,717	2,058	659		
未払金	15,224	15,014	210		
その他の流動負債	6,017	6,109	△ 92		
負債合計	123,389	123,280	109		
I 資本金	258,139	258,139	0		<p>資本の増加は、施設整備費補助金で取得した建物・設備等が「資本剰余金」として整理されたことによる増加と「利益剰余金」の合計が、政府出資財産の減価償却に伴い生じる「損益外減価償却累計額」を上回ったことが主な要因です。</p>
II 資本剰余金	7,197	9,642	△ 2,445		
資本剰余金	29,230	24,902	4,328		
損益外減価償却累計額等	△ 22,032	△ 15,259	△ 6,773		
III 利益剰余金	16,534	12,435	4,099		
目的積立金	3,346	2,847	499		
積立金	8,661	4,237	4,424		
当期末処分利益	4,526	5,350	△ 824		
資本合計	281,871	280,217	1,654		
負債資本合計	405,261	403,497	1,764		

※百万円未満切り捨てで表示しています。

比較損益計算書

単位:百万円

区 分	平成18年度	平成17年度	増 減	備 考
経常費用				対前年度比2%の増加となっています。これは主に受託研究費等の外部資金の獲得に努めたことにより、全体の事業規模が拡大したことが要因となっています。
業務費	102,035	99,430	2,605	主な構成は、物件費が530億円(50%・対前年度比3%増)、人件費が514億円(48%・対前年度比2%増)、財政投融资資金借入金返済利息が22億円(2%・対前年度比8%減)となっています。
教育経費	3,745	3,409	336	
研究経費	16,660	16,193	467	
診療経費	15,458	16,253	△ 795	
教育研究支援経費	2,812	3,150	△ 338	
受託研究費	11,517	9,740	1,777	
受託事業費	434	387	47	
人件費	51,407	50,295	1,112	
一般管理費	2,352	2,407	△ 55	
財務費用	2,171	2,356	△ 185	
雑損	3	22	△ 19	
経常費用合計	106,562	104,217	2,345	
経常収益				収益増加の要因として、附属病院収益については、経営改善係数4億円及び診療報酬請求額の引き下げによる6億円の影響があったが増収対策に努め前年度同水準を保てたこと及び受託研究費等収益については、外部資金の獲得に努めたことによります。(※1)
運営費交付金収益	48,144	47,882	262	
学生納付金収益	11,576	12,382	△ 806	
附属病院収益	24,165	24,371	△ 206	
受託研究等収益	12,316	10,585	1,731	
寄附金収益	4,111	3,895	216	
施設費収益	444	176	268	
補助金等収益	681	422	259	
財務収益	83	32	51	
雑益	1,988	1,652	336	
資産見返負債戻入	7,574	8,147	△ 573	
経常収益合計	111,090	109,555	1,535	
経常利益(△損失)	4,527	5,338	△ 811	
臨時損失	△ 331	△ 98	△ 233	(※2)
臨時利益	330	110	220	
臨時合計	△ 1	12	△ 13	
当期純利益	4,526	5,350	△ 824	
目的積立金取崩額	-	-	-	
当期総利益(△損失)	4,526	5,350	△ 824	

※1 対前年度比1%の増加となっています。主な構成は、資産見返負債戻入を除き、国から措置される運営費交付金収益等が493億円(44%・対前年比2%増)、学生納付金が116億円(10%・対前年度比7%減)、附属病院・財務収益及び雑益が262億円(24%・対前年比1%増)、受託研究等・寄附金などの外部資金収益が164億円(15%・対前年比13%増)となっています。

※2 臨時損失については、固定資産の耐用年数到来前の固定資産除却損であり、国から譲与を受けたもの2億円、他機関への譲与1億円となっており、それに対し臨時収益として、ほぼ同額の資産見返負債戻入益が生じており、損益は均衝しています。

※百万円未満切り捨てで表示しています。

目的積立金について

目的積立金とは	当期総利益のうち、現金の裏付けがあり事業の用に供することが可能な額について、文部科学大臣の繰越承認を受けたものをいいます。これは、翌事業年度以降の中期計画に記載された剰余金の使途に使用することができます。																				
当期総利益とは	収益から費用を差し引いた当期純利益に目的積立金取崩額を加えた額となります。																				
当期総利益のうち現金の裏付けがあり事業の用に供することが可能な額とは	(資金性のもの) 受託研究等の間接経費収入や附属病院収入その他の業務収入を増加させた額並びに効率的な事業を実施し、経費を節減した額など、経営努力によるものです。																				
当期総利益のうち現金の裏付けがない額とは	(非資金性のもの) 主なものは以下のとおりであり、積立金として整理されます。 ①附属病院の建物建設資金や設備等の整備のために、財政投融资資金から借入れた借入金債務の償還期間とその財源で取得した固定資産の減価償却期間のずれから生じる借入金元金償還額と減価償却費との差額 ②附属病院収入により取得した固定資産取得額と減価償却費との差額 ③受託研究費等の外部資金に係る間接経費等により取得した固定資産取得額と減価償却費との差額																				
中期計画に記載された剰余金の使途	教育研究等の質の向上及び組織運営の改善に充てる																				
目的積立金の名称	(教育研究等の質の向上及び組織運営の改善)目的積立金																				
当期総利益・目的積立金	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>当期総利益</th> <th>目的積立金</th> <th>積立金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成16年度</td> <td>70億8千4百万円</td> <td>28億4千7百万円</td> <td>42億3千7百万円</td> </tr> <tr> <td>平成17年度</td> <td>53億5千0百万円</td> <td>9億2千6百万円</td> <td>44億2千4百万円</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>45億2千6百万円</td> <td>—</td> <td>45億2千6百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>169億6千0百万円</td> <td>37億7千3百万円</td> <td>131億8千7百万円</td> </tr> </tbody> </table>		当期総利益	目的積立金	積立金	平成16年度	70億8千4百万円	28億4千7百万円	42億3千7百万円	平成17年度	53億5千0百万円	9億2千6百万円	44億2千4百万円	平成18年度	45億2千6百万円	—	45億2千6百万円	合計	169億6千0百万円	37億7千3百万円	131億8千7百万円
	当期総利益	目的積立金	積立金																		
平成16年度	70億8千4百万円	28億4千7百万円	42億3千7百万円																		
平成17年度	53億5千0百万円	9億2千6百万円	44億2千4百万円																		
平成18年度	45億2千6百万円	—	45億2千6百万円																		
合計	169億6千0百万円	37億7千3百万円	131億8千7百万円																		
平成18年度の内容	<p>目的積立金となる剰余金の算定は、単年度における収支差によって行われ、当期総利益の範囲内で認定されます。</p> <p>平成18年度の収支差はマイナスとなっているため、目的積立金の申請を行うことはできません。</p> <p>これは、財政状況を見据えた経営判断の下に、資本剰余金相当額の活用により、将来の増収を見込んだ上で附属病院に対する積極的な設備投資をしたことによります。</p> <p>平成18年度において、文系総合研究棟建設のため4億2千7百万円目的積立金を使用しています。</p>																				
目的積立金の使途計画	<p>(石橋)文系総合研究棟(6,570㎡)建設経費 平成20年1月竣工 14億7千8百万円</p> <p>(吹田)融合型生命科学総合研究棟(9,450㎡)建設経費 平成21年3月竣工 15億0千0百万円 (別途寄附金10億円を合算) 合計 29億7千8百万円</p>																				

主な資産状況

単位:百万円

区分	所在地	面積(㎡)	金額
土地	吹田地区(吹田市山田丘・茨木市美穂ヶ丘)	996,659	135,365
	豊中地区(豊中市待兼山)	445,851	71,558
	中之島地区(大阪市北区)	1,000	651
	その他(三重県志摩市・箕面市新稲等)	79,042	9,817
	合計	1,522,552	217,391
建物	吹田地区(吹田市山田丘・茨木市美穂ヶ丘)	605,278	63,028
	豊中地区(豊中市待兼山)	251,283	21,845
	中之島地区(大阪市北区)	3,993	704
	その他(三重県志摩市・箕面市新稲等)	48,710	6,058
	合計	909,264	91,635
	種別	件数	金額
その他	構築物	3,600	4,714
	機械及び装置	305	539
	工具・器具及び備品	19,790	32,736
	図書	3,216,352	21,109
	美術品・收藏品	214	814
	船舶	20	1
	車両及びその他の陸上運搬具	24	9
	建設仮勘定	—	503
	特許権	74	51
	ソフトウェア	117	169
	投資有価証券	—	6,473
その他	448	386	
	合計		67,504
	総合計		376,539

平成18年度の主な取得資産

工学研究科GSEコモンサテライト棟新設.....	事業費: 6億円
地上5階建 床面積: 2,509㎡ 4月竣工	
工学研究科研究棟改修(平成17年度~20年度継続事業)...	事業費: 10億円
応用化学科研究棟 床面積: 5,741㎡ 9月竣工	
歯学部附属病院先端口腔総合診療棟新設.....	事業費: 18億円
地下1階地上4階建 床面積: 4,812㎡ 12月竣工	
歯学研究科口腔科学研究棟新設.....	事業費: 16億円
地下1階地上5階建 床面積: 5,854㎡ 12月竣工	



コモンサテライト棟



応用化学科研究棟



先端口腔総合診療棟・口腔科学研究棟